

南信州 冬の民俗芸能情報

暖かい服装でお出かけください。
 時間はおよその目安です、お早めにお出かけください。
 詳細はお問い合わせください。

【天龍村の霜月神楽】

釜に沸かした湯を神々に捧げ、釜の周りで神楽を舞うことで来る年の豊穡と無病息災を願う日本古来の湯立神楽です。
 万物の生命が衰える冬、その復活蘇生を祈る神楽が夜を徹して行われます。国重要無形民俗文化財。



日程	祭り名 神社	特徴	駐車場
			休憩所
1月3日(金) 14:00~0:00 お登り	向方(むかがた)お潔め祭り 天照大神社	本来、祝事等のあったときに行われる臨時祭でしたが、現在は毎年1月3日に行われます。面形のない湯立神楽で、扇、ヤチゴ、剣などを手に湯ばやしの舞が舞われます。	駐車場なし 向方集会所に休憩所有
1月4日(土) 18:30~お練り 翌日お昼12時頃終了	坂部(さかべ)の冬祭り 大森山諏訪神社	正長元年(1428年)に始まった祭り。たいきり面は翌日5日の朝5時ごろ登場予定。	神社上(約20台) 神社内に休憩所有
1月5日(日) 13:00~お登り 17:00~剣の三ツ舞・四ツ舞 翌日2:00~鎮めの舞	大河内(おおこうち)池大神社例祭 大河内池大神社	面形のない湯立神楽で、扇や剣などを持ちかえながら夜を徹して舞が奉納されます。最後の「鎮めの舞」は熟練者の舞う厳粛なものとされています。	大河内集会所(約10台) 神社内に休憩所有

※問い合わせ先 天龍村教育委員会 0260-32-3206

【新野の雪祭り】

凍てつく境内の庭で、夜を徹して行われる仮面の神々の舞であり、新しい年の豊年予祝の祭り。
 古代芸能の原形をとどめる貴重な民俗芸能で、その唱えや舞の中に古代の祭りの神人交歓の情景をみることができます。
 国重要無形民俗文化財。



日程	神社	特徴	休憩所等
1月13日(月) 16:00~お上り(諏訪社→伊豆社) 23:00~本殿神事	伊豆神社(阿南町)	能や狂言などの伝統芸能の原点とも言われ、田楽、神楽、猿楽、田遊びなど芸能の原型が次々に繰り広げられる。15日の午前1時頃、大松明に火がとどり、「ランジョウ、ランジョウ」の叫び声と共に「幸法(さいほう)」、「茂登喜(もどき)」、「競馬(きょうまん)」その他神々が登場し、夜が明けても延々と続く神々の舞の中で人々は、五穀豊穡、子孫繁栄を祈ります。	道の駅信州新野千石平から徒歩10分 休憩所有
1月14日(火) 1:00~明け方 松明点火・庭開き・面開き			

※問い合わせ先 阿南町振興課 0260-22-4055